

“プレミアム食材”をAI搭載型無人販売機で手軽に便利に購入
「スマートリテールテクノロジー de GO」実証実験開始
AIによる在庫管理・キャッシュレス対応で、ニューノーマルな時代に対応

サッポロ不動産開発株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：時松 浩）は、当社が保有するシェア型賃貸住宅「シェビア恵比寿」（東京都渋谷区恵比寿）において、ゴールデンバーグ株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：金澤 秀憲）が開発および運営するAI搭載型無人販売機「スマートリテールテクノロジー de GO(スマリテ)」の実証実験を2021年1月15日（金）より開始します。

「スマートリテールテクノロジー de GO(スマリテ)」実証実験は、未曾有の感染症によるニューノーマルな時代を鑑み、人との接触機会を減らしつつ、こだわりの食材を時間をかけずに便利に購入できる場を提供することにより、日々の食卓を充実させるための取り組みです。

本実証実験では、自動販売機で希少性の高い生鮮食材や加工食品などの“プレミアム食材”をラインアップし、忙しくて買い物や食事作りに時間はかけられないけれど美味しいものを食べ、健康に過ごしたいという現代の生活者のニーズに応えるサービスを展開します。シェア型賃貸住宅ならではの個食ニーズに合わせ、農家から直送の野菜5〜6種類がミックスされたサラダセットや手のひらサイズスティック人参、また、電子レンジで温めれば食べられる新潟県産の釜炊きご飯や生卵などもラインナップ。近くのコンビニやスーパーでは取り扱いが少ないレトルト食品やおつまみにもなる缶詰なども取り揃え、朝食などの食事からおつまみまで、こだわり商品を必要な分だけ購入頂けます。（※取り扱い商品は状況により見直す予定）購入の事前準備は専用アプリと決済アプリのダウンロードのみです。購入時に自動販売機のQRコードをスキャンし、庫内から好きな商品を取り出して、ドアを閉めるだけでキャッシュレス決済が完了します。商品の購入データはリアルタイムに集積し、消費動向分析を行うことで利用者のニーズに対応したラインアップにしていきます。

また、居住環境内で買物が完結する利便性向上だけでなく、必要に応じて購入できることからゴミ廃棄・食品ロス削減へとつながり、社会課題の改善にも貢献できるものと考えます。

当社では、時間や場所に縛られない“個”のライフスタイルの広がりやデジタル化の進展に合わせ、“ひとりひとり”に寄り添った新たな価値を不動産事業の枠にとらわれず創り、育むことで、まちに住む人・働く人・訪れる人々に利便性や快適さを提供し、周辺エリアも含めたまちの魅力向上と笑顔の絶えない空間の創造に挑みます。

【実証実験概要】

◇内容

AI搭載型無人販売機「スマリテ」を当社が保有するシェア型賃貸住宅「シェビア恵比寿」の共有スペースに設置し、利用状況や販売動向の分析、快適な住環境の提供や常設後の運営方法の検証を行います。

◇期間

1月15日（金）～3月31日（水）

◇スマートリテールテクノロジー de GO (スマリテ)

ゴールデンバーグ株式会社が開発および運営する AI 搭載型無人販売機。AI 及び RFID 技術などの無人化技術により運営上の販売管理、在庫管理、プライスコントロール、賞味期限管理監視、温度監視機能 (HACCP 対応) などのデータ集積、可視化をクラウドシステムで一括コントロールする機能が搭載されています。運営者側の完全な無人化が実現することで運用上のランニングコストをほぼゼロに抑えることが出来るため、良質な製品をより安く販売することが可能となります。



AI 搭載型無人販売機

◇実施主体者

社名：ゴールデンバーグ株式会社

設立年月：2006年11月

本店所在地：東京都中央区日本橋馬喰町1丁目13-12

代表者名：金澤 秀憲

公式HP：<http://www.goldenberg.co.jp>

◇場所

シェア型賃貸住宅「シェビア恵比寿」

物件所在地：東京都渋谷区恵比寿3丁目9-29

◇管理運営者

株式会社リビタ

本社所在地：東京都目黒区三田1丁目12-23

公式HP：<https://www.rebita.co.jp/>



シェア型賃貸住宅「シェビア恵比寿」内観



シェア型賃貸住宅「シェビア恵比寿」外観

以上